

第42回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1 日時：令和3年8月25日（水） 15時30分～16時

2 場所：本庁3階 第三会議室

3 出席者：資料席次表参照

4 議事概要

（1）新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

感染者状況・療養状況については、ほとんどの指標が先週より右肩上がりで感染拡大しており、最大限の警戒が必要。

感染者数の推移については、第4波を超えており、右肩上がり。

療養状況も、第4波を超えている。

ワクチン接種の割合は、前回同様、2回接種の方の感染割合が低い。現在のところ、2回接種の方においては重症者はいない。

感染者の傾向では、7月以前と7月以降の比較では、20歳代以下の感染者の割合が大変増加している。未就学児や小中学生の割合も増加している。一方、60歳代以上の割合は大きく減少している。

感染者の病状は、60歳代以上の感染者数、中等症・重症の割合が低くなっている。デルタ株の感染が増加した7月以降で、10歳代以下の中等症・重症の報告はない。

感染者の推定感染源は、7月以降、感染源不明の割合が50%を超える状況が続いている。

18歳以下の推定感染源については、5歳以下は9割近くが家族からの2次感染、6～15歳の小学生・中学生は、約7割が家族からの2次感染。まずは家庭に持ち込まないことが大切。

感染者の症状については、7月以降、無症状者が少なくなり、大部分が何らかの症状が出ている。

感染予防として、資料のとおり日常における感染防止対策、家庭内での感染防止対策を徹底してもらいたい。

保健所体制の拡充について、更なる人員増、回線増設を行う。

ワクチン接種数の実績については、1回目の接種済が52%、2回目の接種済が44%。希望する高齢者への接種は概ね終えたと考えている。

30歳代以下のワクチン接種の新規予約開始は8月30日。妊娠中の方とその配偶者は8月26日から予約・接種が可能とし、市の集団接種会場でも接種可能とする。妊娠中の方はまずはかかりつけの産科・医療機関に相談してもらいたい。詳細は市のホームページに本日から掲載予定。

全体の完了時期の見込みは、必要な量のファイザーワクチンの供給があれば、11月中旬。今後、モデルナワクチンの活用により前倒しも可能。市の集団接種会場でも10月4日以降、モデルナワクチンへの切り替えを行うとともに、一部の医療機関でもファイザーワクチンに加え、モデルナワクチンの活用を検討している。

今後少しでも早く接種していただけるように、昨日から医療機関の予約の空き状況をホームページに掲載している。市民の皆様には予約の空き情報などを活用していただき、落ち着いて予約・接種に臨んでいただきたい。

[市長]

保健所長に質問。デルタ株の影響で無症状者が以前に比べて少なくなっている。このことから2つのことが考えられる。1つは、デルタ株は以前のウイルスに比べて、症状が出やすく、無症状がほとんどないものだと考えるべきなのか、それとも、今、陽性率が次第に高くなっているため、2点目としては、無症状の方を捕まえ切れていないと考えるのか、どちらで考えればいいのか。

[保健所長]

デルタ株の特性と考える。濃厚接触者の検診で発見した中での無症状者は、いわゆる医療機関における検査機会の減少のために未診断になっているものではなく、濃厚接触者の検査では無症状の方はごくわずかしかないということ。ただ、子どもの無症状はたくさんいる。接種済の高齢者にも無症状がいる。

[市長]

答えられる範囲でいいが、デルタ株によって若い人たちの感染が増えているが、中等症・重症がないということで、軽症か無症状。今の保健所長の話では小さい子に無症状が多いという傾向があるのは、いわゆるデルタ株の影響ということで考えていいのか。

[保健所長]

20歳未満の病状は幸い重症はいないが、全国的には20歳未満の重症者が報告されている。さらに現在アールエスウイルスの流行があるために新生児でアールエスウイルスとデルタ株の両方に感染して比較的重い病状の方が増えている。そういったことが今後岡山で起こるか否かについては注目していく。20歳代では具体になっていないので重症者の中に入っていないが、現時点で既に重症者が出ている。それは従来のアルファ株や野生株では見られなかった事態なので、決して若年者だから大丈夫とは言えない。熱の程度がアルファ株や野生株と比較してひどく、つらい思いをしている患者がたくさんいる。

(2) 岡山駅前における人流動向について【政策局】

[政策局長]

推計通行人口はこの4週間では減少傾向にあって、特に先々週から先週にかけて減少している。

(3) 学校教育活動について【教育委員会】

[教育長]

子どもたちの健やかな成長のためには、心と体の健康も学びを保障することもいずれも欠かすことのできない重要なことと考え、当初の予定どおり8月30日に2学期の始業式を行う。夏休みの延長は考えていない。

今後、一層子どもたちの安全確保を図るため、当面の間、資料のとおり措置をとる。

この対応は緊急事態宣言期間中でも変わらず行う。

(4) 保育園等の対応について【岡山っ子育成局】

[岡山っ子育成局長]

保育園、認定こども園、市立幼稚園の対応について、資料により説明。

放課後児童クラブ等の対応について、資料により説明。

(5) 緊急事態措置実施区域とされる見込みになったことを受けての今後の対応について【危機管理室】

[危機管理監]

今夜にも国から示される予定の基本的対処方針等の内容を踏まえ、市有施設の臨時休館の拡大、市主催行事の開催制限の強化、保育園等の対応など、必要な対応策を検討したうえで、後日、改めて本部会議を開催し、その場で意思決定をさせていただきたい。

5 本部長指示事項等

人口 10 万人当たりの感染者数、療養者数が第 4 波を超えた。感染者数の推移をみると、未だピークに達したと判断できる状況にはない。今後も多くの感染者の発生が想定される。

保健所の体制は、現在では、受診相談センター、新規感染者の調査、自宅療養者の健康観察など、なんとか対応できている状況。今後の感染拡大に備え、人員、電話回線を、さらに強化していく予定。

この新型コロナウイルス感染症対策の切り札とも言うべきワクチン接種であるが、40代以上の方の接種は順調に進んでいる。ワクチンの供給に一定の目途がたち、9月初旬としていた、30代以下の方の予約を8月30日（月）から開始する。感染するとリスクの高い妊娠中の方と配偶者の方等の予約を明日8月26日から開始する。

また、各医療機関の予約の空き状況を昨日からホームページに掲載しているので活用してもらいたい。

30代以下の方が8月30日からになった。長期間お待ちいただいて申しわけなかったが、感染が拡大していることもあり、積極的な接種をお願いする。

まん延防止等の重点措置の影響もあって岡山市中心部の人流については、減少傾向にある。

若年層の感染増加に対応し、市立学校園での感染防止の取り組みについて、さらなる対策を行うこととした。

保育園等は、緊急事態宣言が発令されても、引き続き開園する予定だが、可能な範囲で家庭

での保育をお願いする。

8月27日から9月12日の間、再度の緊急事態宣言が発令される見込みとなった。岡山市においても、これまでに経験したことのない感染拡大の局面を迎えている。特に10代20代の感染者が増えているのが特徴。中学生以下のお子様の感染の大半は、同居家族からの2次感染。まずは、家庭に持ち込まないことが大事。市民の皆様には、家庭内では、できるだけ換気をするとともに、こまめに手洗いをお願いしたい。

また、少しでも症状のある方がいれば、他の同居者との部屋を可能な限り分けるとともに、PCR検査を念頭に、医療機関を受診いただきたい。

市立の学校園においては、すでに児童生徒の健康観察や検温、手洗いやマスク着用、校内の消毒など、感染リスクを抑える努力を続けてきた。このたび、最近の若年層の感染拡大を受け、さらなる安全確保措置として、校内行事や感染リスクの高い学習活動、部活動の中止、また感染が確認された場合の学級閉鎖、学年閉鎖、場合によっては休校の対応を取ることにした。

現在、40代50代の方々のワクチン接種は順調に進んでいる。本日、さらに30代以下の若い世代の方々のワクチン接種について、予定より早く、8月30日から予約を開始することが決まった。

ワクチン接種が、感染拡大と重症化を防ぐ切り札と考えている。われわれは、希望する全ての方への接種が完了するまで、全力を挙げて取り組んでいきたい。

本日発表予定の緊急事態措置を受けた岡山市の対応については、政府が示す基本的対処方針の内容等を踏まえて検討し、改めて、後日、本部会議を開催して意思決定をさせていただきたい。

第42回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和3年8月25日（水）

15時30分～16時

場 所：本庁3階 第三会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

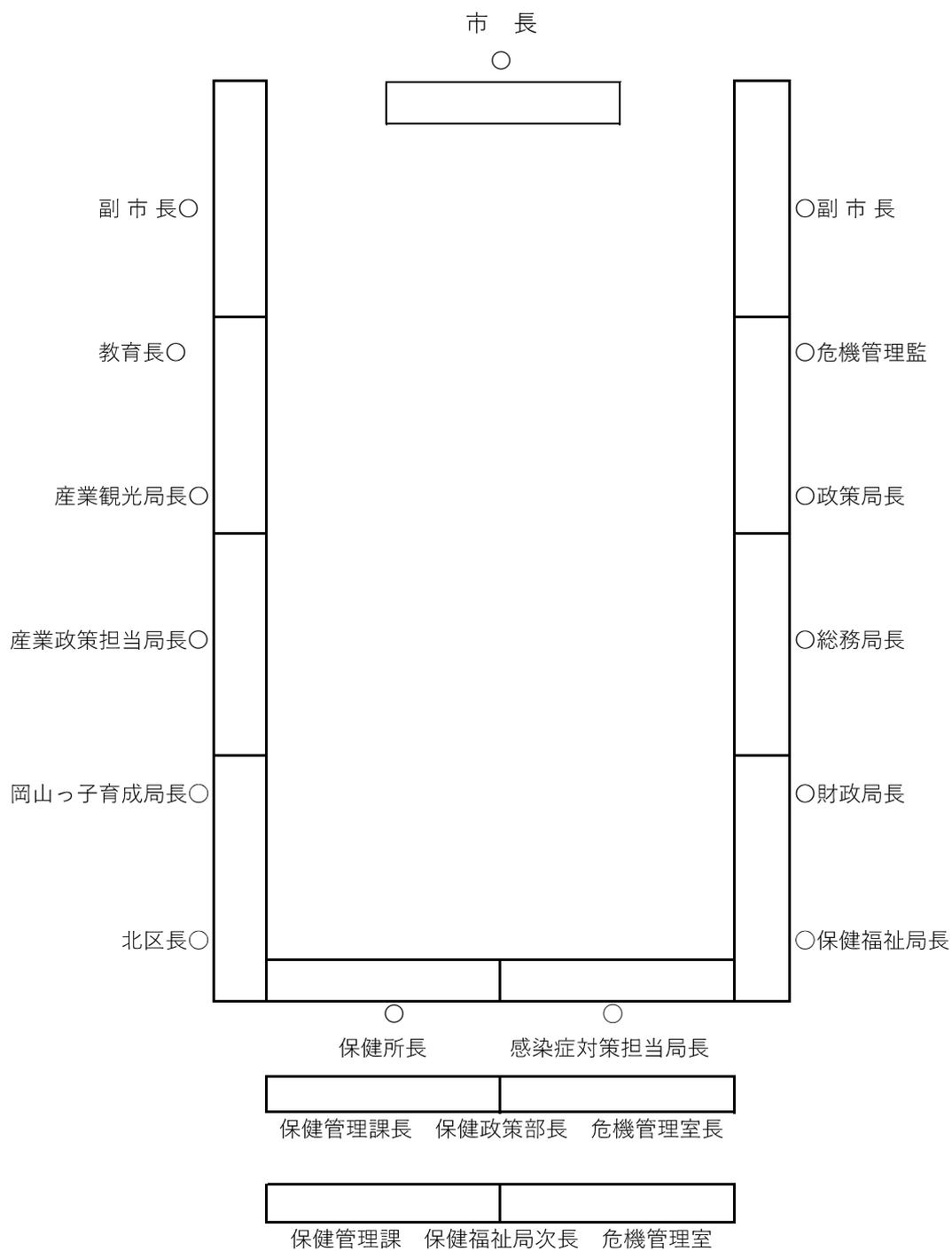
（1）現時点における対応状況等について各局区室から報告

- ① 保健福祉局
- ② 政策局
- ③ 教育委員会
- ④ 岡山っ子育成局
- ⑤ 危機管理室

（2）その他

3 閉 会

新型コロナウイルス対策本部会議配席図
(R3.8.25 第42回)



(報 道)

【岡山市】感染状況・療養状況の分析(8月22日時点)

令和3年 8月25日
第42回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
保健福祉局

区分	モニタリング項目 過去1週間合計(月～日)	前回の数値 (8月15日時点)	現在の数値 (8月22日時点)	前回との 比較	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	498人 (71.1人)	772人 (110.3人)	↗
		60歳以上 (総数に占める割合)	28人 (5.6%)	40人 (5.2%)	→
	②区別 新規陽性者数	北区	251人	337人	↗
		中区	102人	221人	↗
		東区	104人	162人	↗
		南区	35人	47人	→
	③新規陽性者における 接触歴不明者	数	278人	394人	↗
		割合(③/①)	56%	51%	→
④PCR検査数と陽性率(速報値)		4,200件 (11.9%)	5,425件 (14.2%)	↗	
療養状況	⑤入院患者数	89人	113人	↗	
	⑥宿泊療養者数	100人	120人	↗	
	⑦自宅療養者数	439人	681人	↗	
	⑧療養者数(人口10万人当たり)	89.7人	130.6人	↗	

総括コメント

**感染が拡大しており
最大限の警戒が必要**

新規陽性者は人口10万人当
たり110.3人と更に増加、感染
が拡大している。

接触歴不明者も約半数を占
め、市中感染が広がっている。

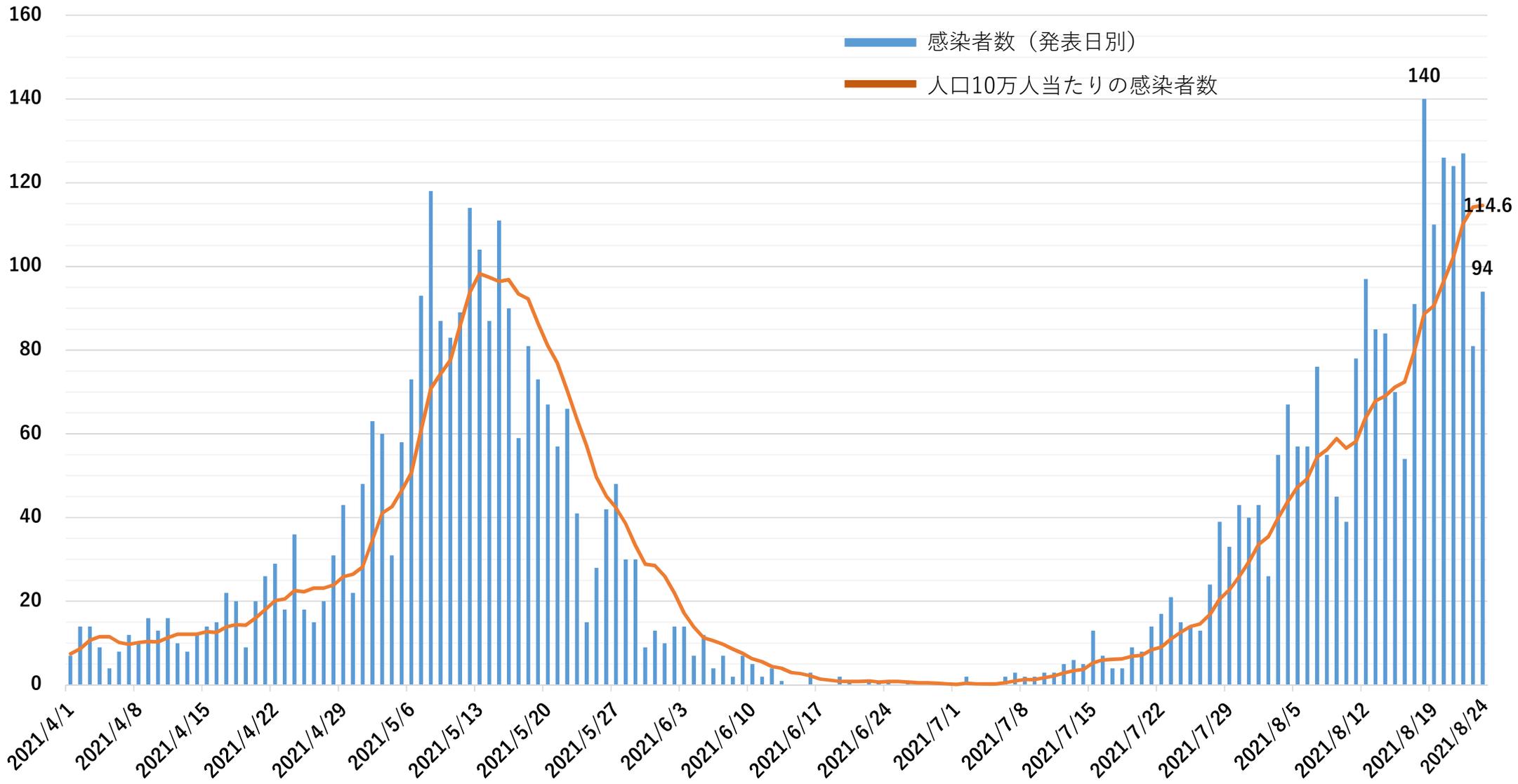
まん延防止等重点措置が発
令されたが、デルタ株は感染力
が高く、各自が強い危機感を持
ち、基本的な感染防止対策を
徹底することが求められる。

自宅療養者が増加しており、
日々の健康観察を確実に行って
いく。

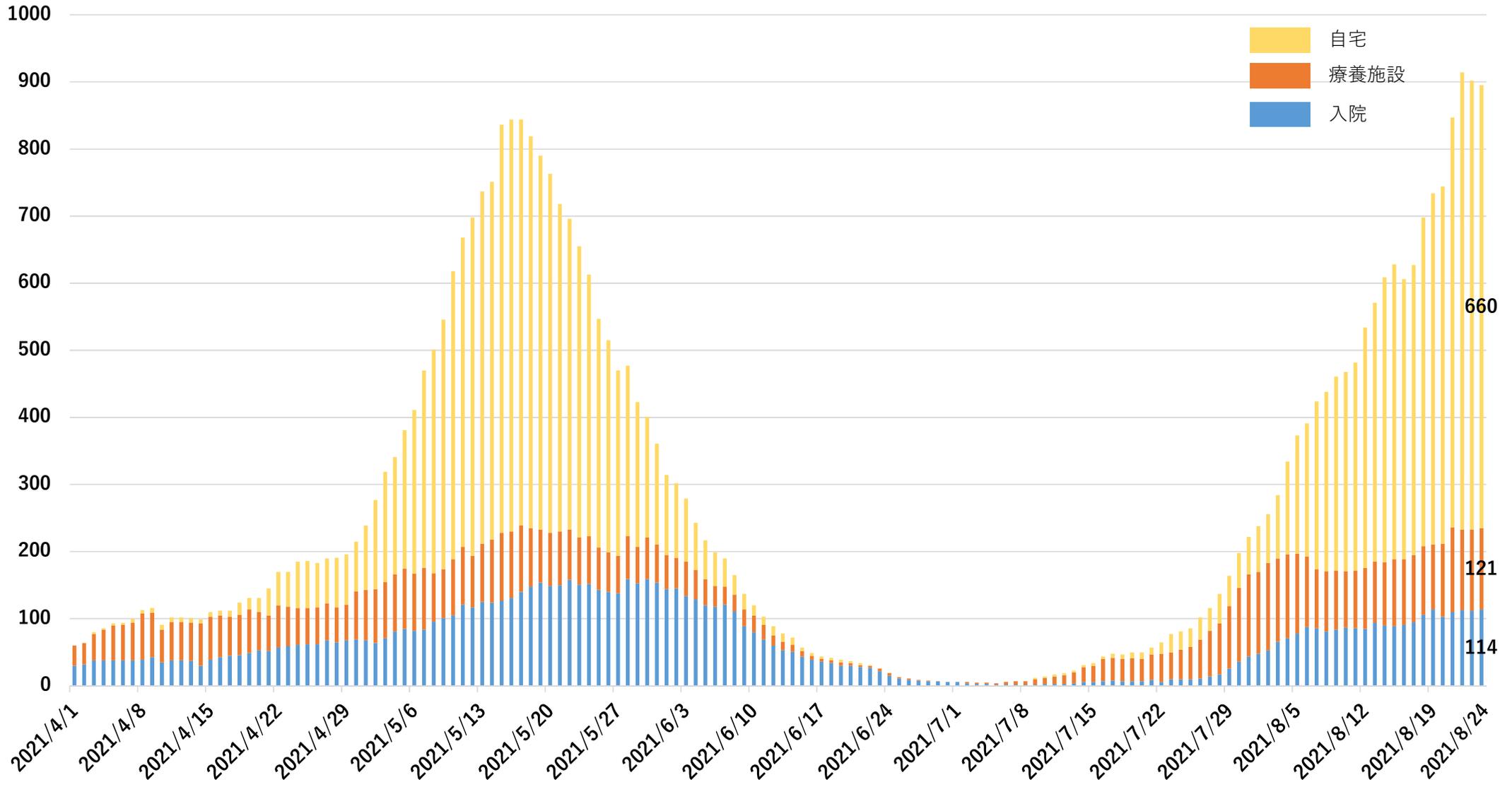
警戒レベル



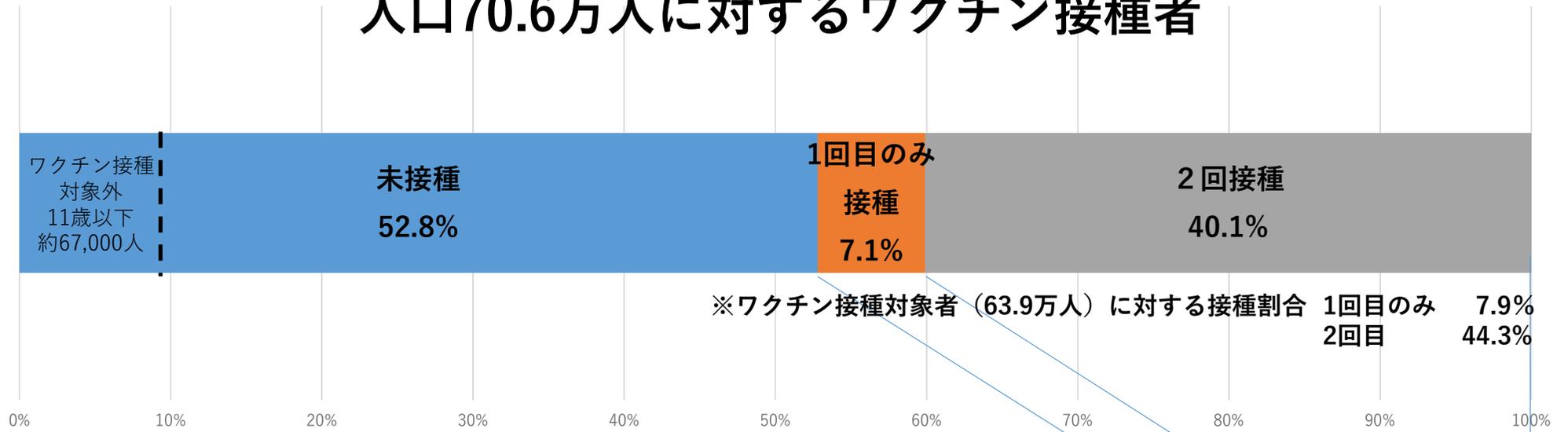
感染者数の推移 R3.4.1～R3.8.24発表分まで



感染者の療養状況（発表日別） R3.4.1～R3.8.24発表分まで

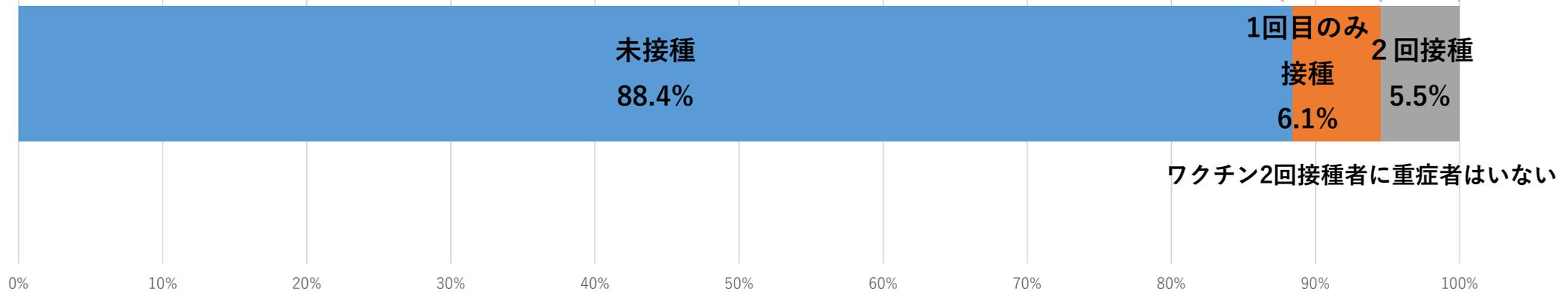


人口70.6万人に対するワクチン接種者



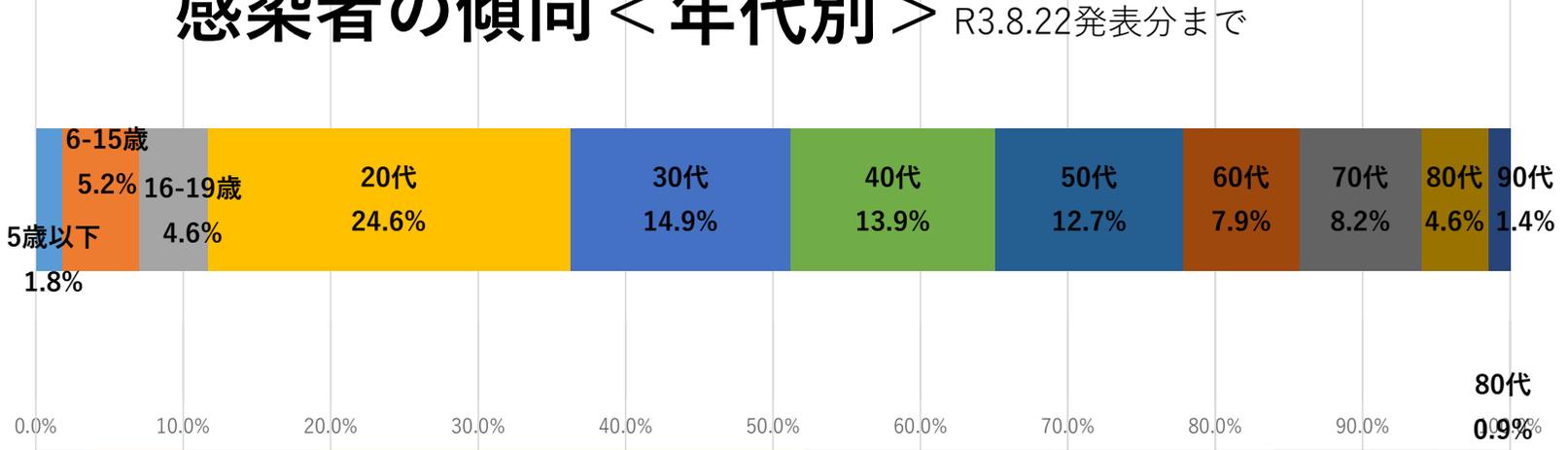
感染者（1,950人）※に対するワクチン接種者

※聞き取りで、ワクチン接種の有無が判明している者

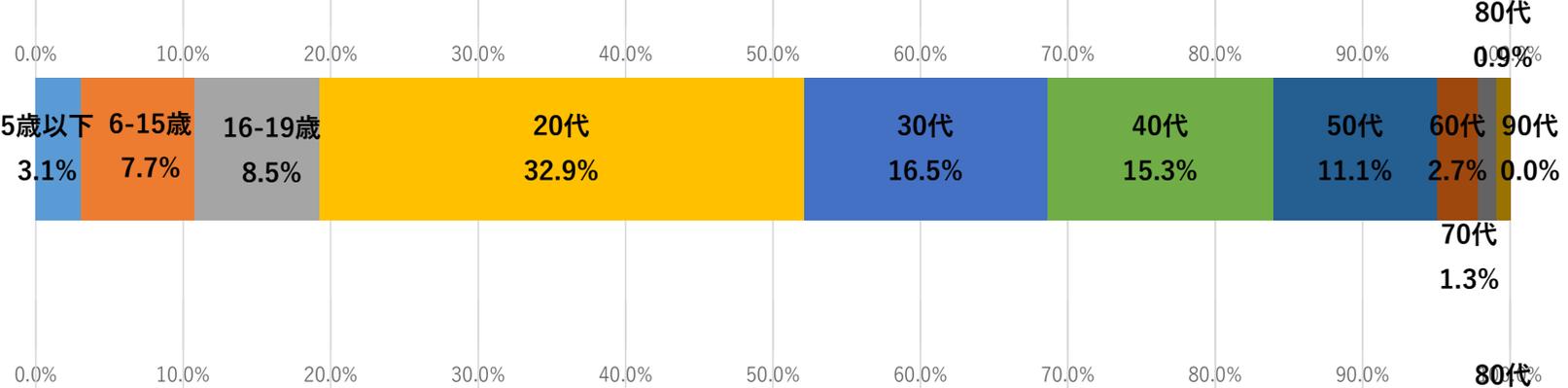


感染者の傾向 <年代別> R3.8.22発表分まで

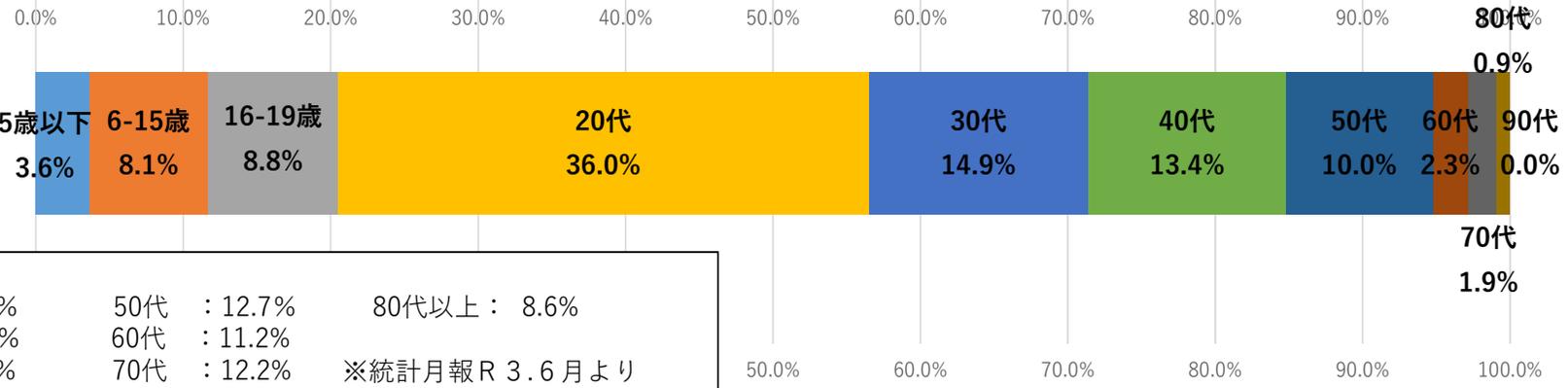
R3.6.30までの感染者
合計4,012人



R3.7月以降の感染者
合計2,057人



直近 1 週間の感染者
合計772人 (8/16~8/22)



【参考】市内の人口割合			
5歳以下	: 4.9%	20代	: 10.9%
6-15歳	: 9.1%	30代	: 11.6%
16-19歳	: 3.9%	40代	: 14.7%
		50代	: 12.7%
		60代	: 11.2%
		70代	: 12.2%
		80代以上	: 8.6%

※統計月報R 3.6月より

令和3年7月以降の感染者の病状

(8月22日までの感染者2,057人のうち8月22日時点で療養終了している1,184人の病状)

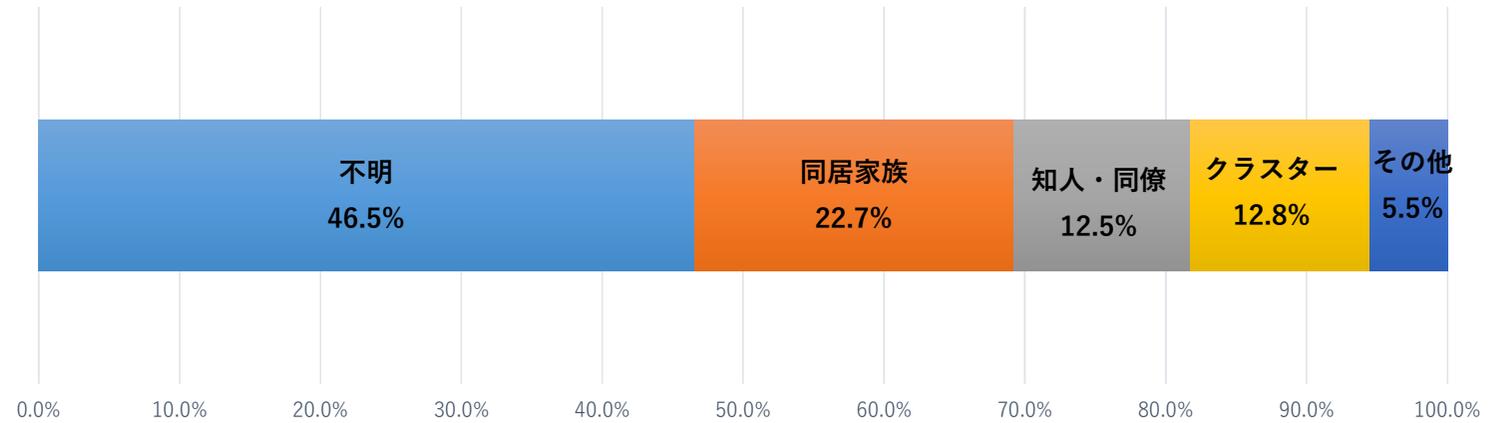
年代	無症状	軽症	中等症	重症	不明	合計
10代以下	10 4.4%	218 95.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	228 19.3%
20-30代	6 1.0%	572 97.8%	7 1.2%	0 0.0%	0	585 49.4%
40-50代	6 1.9%	309 96.9%	3 0.9%	1 0.3%	0	319 26.9%
60-70代	2 5.0%	37 92.5%	1 2.5%	0 0.0%	0	40 3.4%
80代以上	0 0.0%	11 91.7%	1 8.3%	0 0.0%	0	12 1.0%
合計	24 2.0%	1147 96.9%	12 1.0%	1 0.1%	0	1184

10代以下には、中等症、重症者はいない

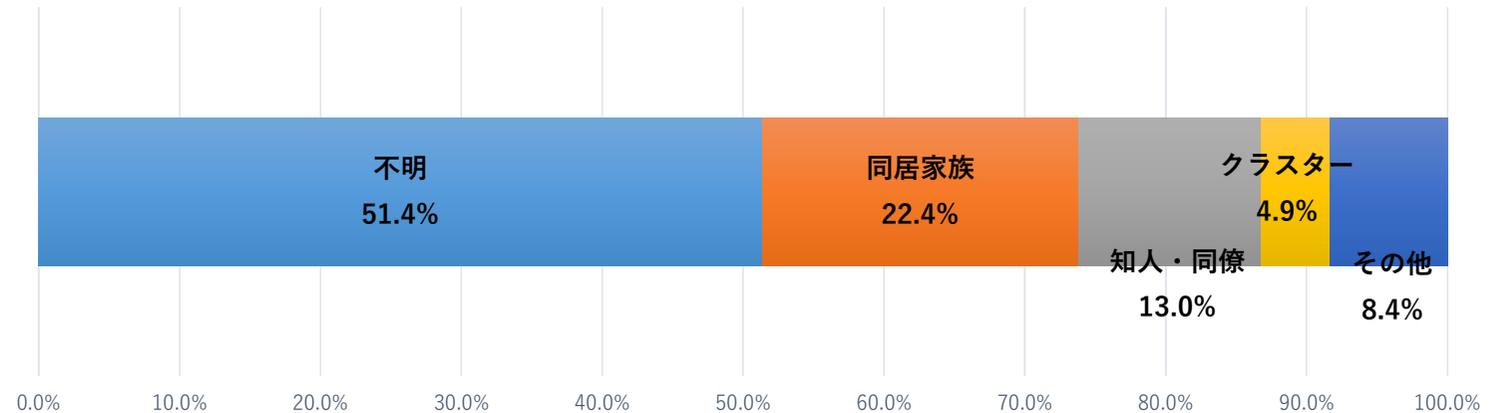
感染者の推定感染源

R3.8.22発表分まで

R3.6.30までの感染者
合計4,012人

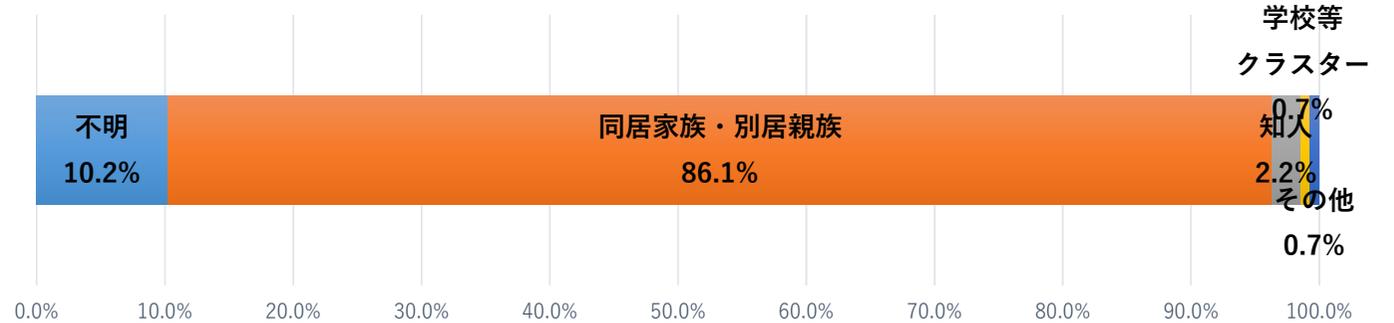


R3.7月以降の感染者
合計2,057人

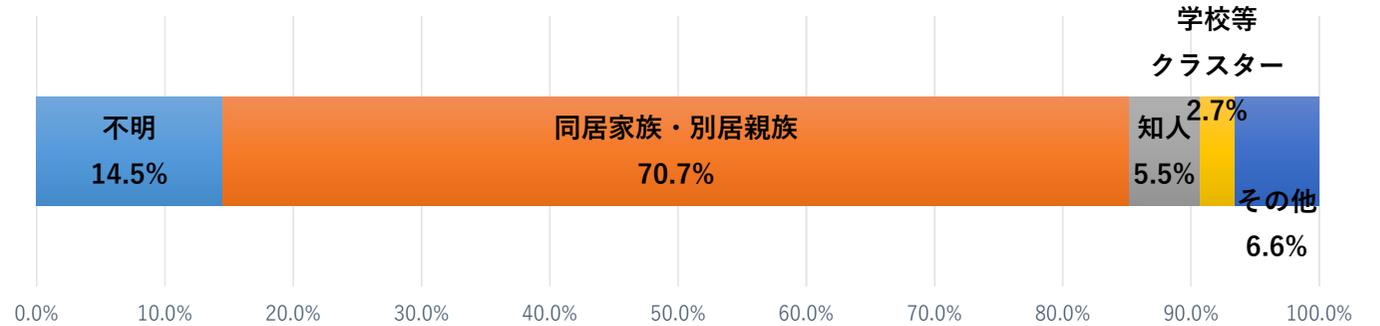


18歳以下の感染者の推定感染源 R3.8.22発表分まで

5歳以下の感染者
合計137人
(うち7月以降63人)



6-15歳の感染者
合計365人
(うち7月以降158人)



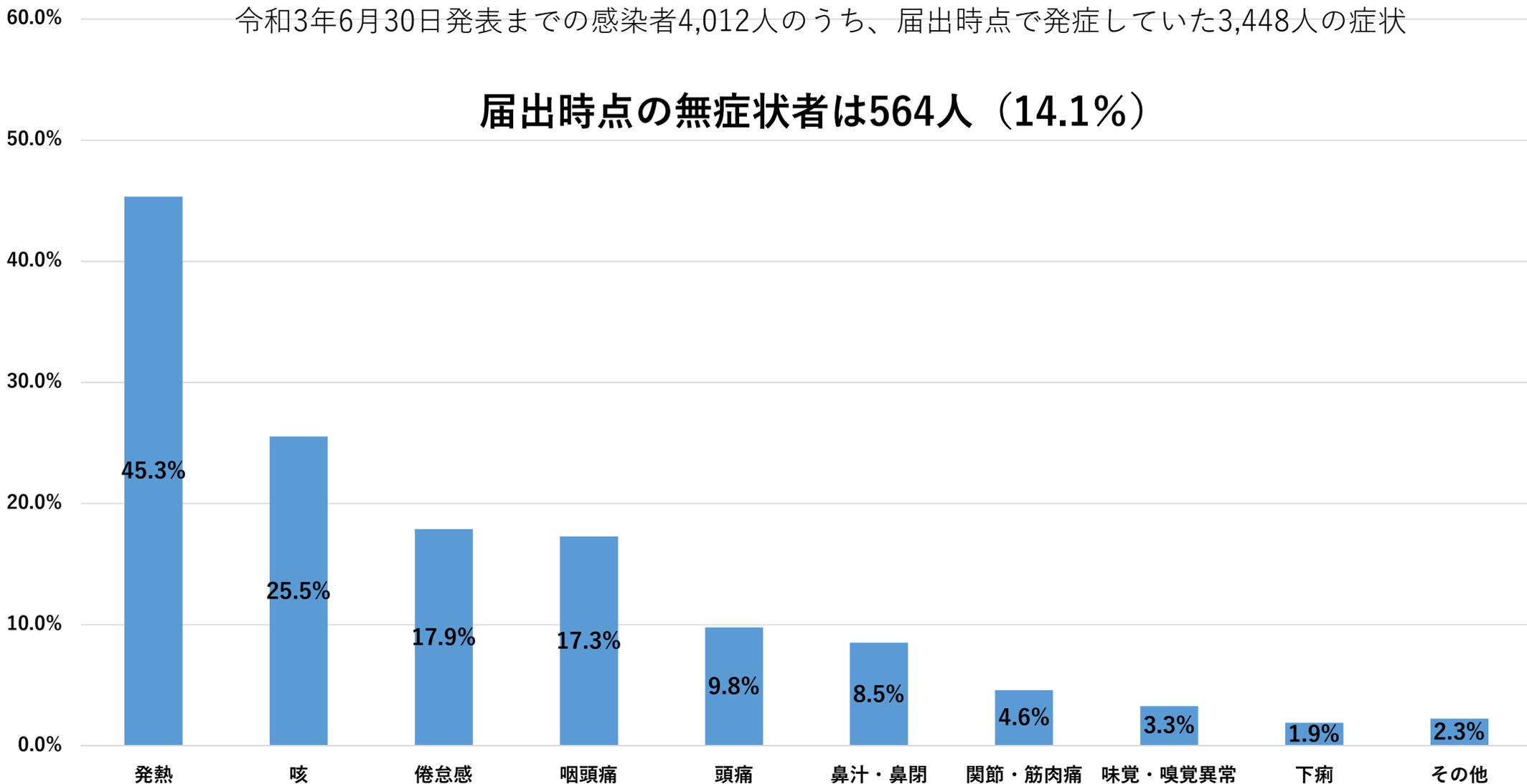
16-18歳の感染者
合計188人
(うち7月以降99人)



令和3年6月30日までの感染者の症状

令和3年6月30日発表までの感染者4,012人のうち、届出時点で発症していた3,448人の症状

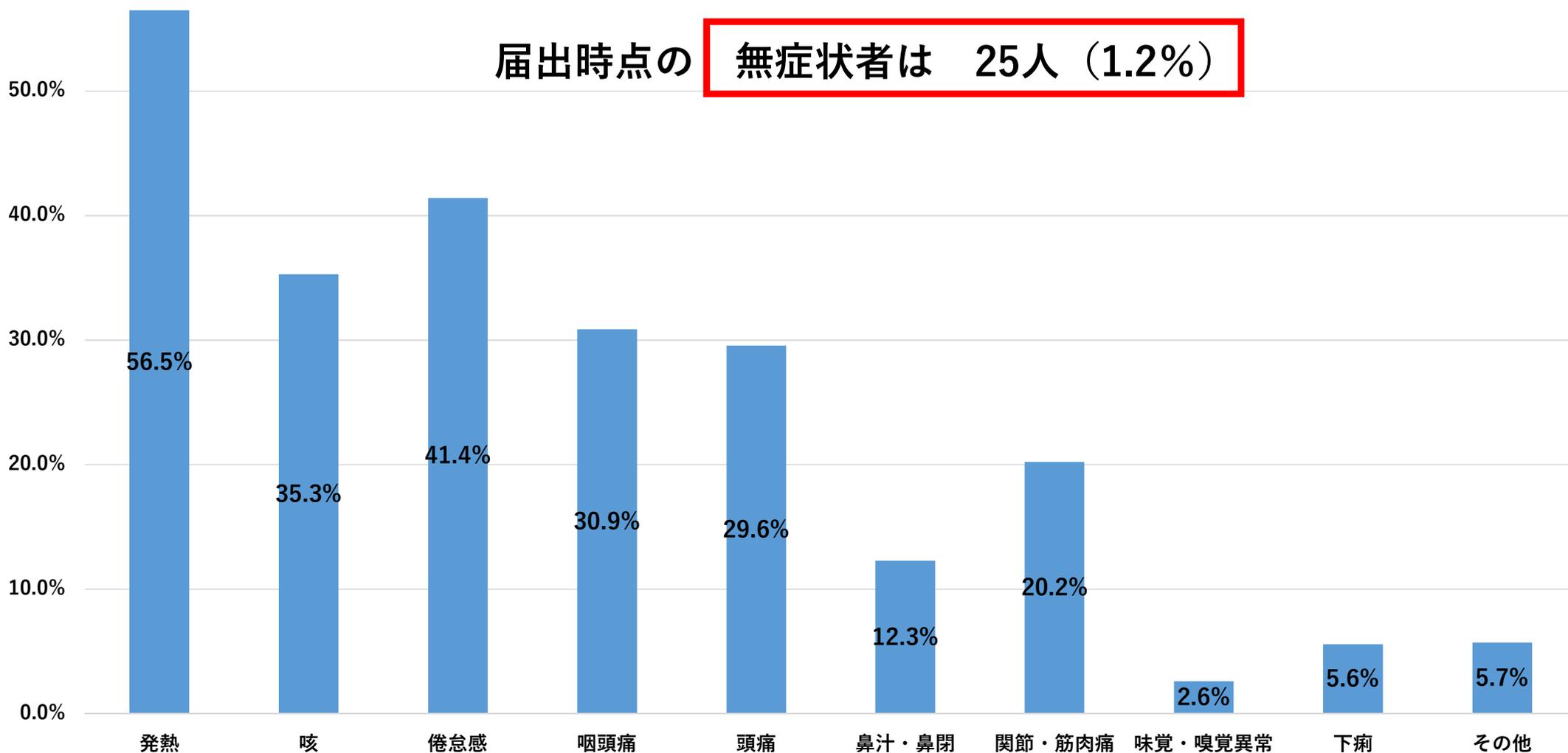
届出時点の無症状者は564人（14.1%）



令和3年7月1日以降の感染者の症状

令和3年7月1日以降に発表した感染者2,057人のうち、届出時点で発症していた2,032人の症状

届出時点の **無症状者は 25人 (1.2%)**



日常における感染防止対策

- マスク、手洗い、3密の回避等、基本の感染防止対策を徹底
- 日中も含めた不要不急の外出・移動を自粛
- 家族や普段行動をともにしている仲間など少人数で行動し、混雑している場所や時間を避ける
- 症状があれば、会社等を休み、PCR検査を念頭に、早めに医療機関を受診

家庭内での感染防止対策

- 中学生以下のお子様の感染の大半は、同居家族からの2次感染。
先ずは、家庭内に持ち込まないことが大切
- できるだけ換気をするとともに、こまめに手洗い
- 少しでも症状のある方がいれば、他の同居者との部屋を可能な限り分ける

新型コロナウイルスに関する保健所体制について

現 状

所属など	人員 (1日当たり)	業 務	電話 回線数	備考
感染症対策課 (兼務職員等含む)	52人	新型コロナウイルス 受診相談センター	13回線 (うち受信専用10 回線)	相談件数 1日当たり 200~300件
市内部からの 応援職員	65人	患者対応	40回線	内容 ・患者調査 ・療養管理 ・受診調整 など
看護協会等 からの 派遣	23人			
合計	140人	自宅療養者の健康観察	20回線	自宅療養者数 660人 8/24現在

※最大数であり、日々の従事者数と異なる。

拡 充

人員増 10人 + α
随時増員中

回線増設 32回線
感染者及び自宅療養者増に伴い、電話がかかりにくい状況を回避

新型コロナワクチン接種数（実績）について

令和3年8月24日時点入力済み数値（保健管理課集計）

区 分	①対象者数 (人口)	②1回目 接種回数	対人口進捗率 =②/①	③2回目 接種回数	対人口進捗率 =③/①
【高齢者】 65歳以上	195,000人	173,497人	89%	169,723人	87%
60歳以上65歳未満	39,000人	28,047人	72%	23,064人	59%
50歳以上60歳未満	93,000人	44,027人	47%	30,114人	32%
40歳以上50歳未満	101,000人	38,074人	38%	25,113人	25%
30歳以上40歳未満	81,000人	23,913人	30%	17,262人	21%
20歳以上30歳未満	77,000人	22,057人	29%	15,711人	20%
12歳以上20歳未満	53,000人	3,710人	7%	1,905人	4%
合 計	639,000人	333,325人	52%	282,892人	44%

- 1 接種回数の数値はVRSのデータによる
- 2 年齢区分はR4.4.1時点の年齢による、対象外の12歳未満は67,000人

新型コロナワクチン一般接種のスケジュールについて

令和3年8月25日
第42回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
保健管理課（ワクチン担当）

種別	8月	9月	10月	11月
① 50歳代 9.3万人	8月10日 予約開始 接種は、8月10日以降、各医療 機関毎に順次開始		9 月 末 接 種 完 了 見 込 み	
② 40歳代 10.1万人				
③ 妊娠中の方など	☆ 8月26日 予約開始		11 月 中 旬 接 種 完 了 見 込 み	
④ 30歳代 8.1万人				
⑤ 20歳代 7.7万人	☆ 8月30日 予約開始 接種は、8月30日以降、各医療機関毎に 順次開始			
⑥ 10歳代（12歳以上） 5.3万人				

※ 接種期間は目安。1000人以上の職域接種や県営会場等に加え、市の集団接種会場等でのモデルナワクチンの活用で前倒しは可能。

一般接種について

10月初旬までの国からのワクチン供給量の目途がたったため、**30代以下の予約を8月30日（月）から開始**。接種の完了時期は11月中旬を見込んでいるが、市の集団接種会場等でのモデルナワクチンの活用で前倒しも可能。

※ 妊娠中の方及びその配偶者等で希望される方は**8月26日（木）から優先的に予約を受け付けます**。接種の可否について、まずはかかりつけ医等にご相談し接種依頼をしてください。かかりつけ医で接種を行っていない場合などは、他の接種医療機関や市のコールセンターにご相談ください。詳しくは8月25日に市ホームページに掲載予定。

接種の促進について

1 予約空き状況の公表

- ・医療機関毎の予約の空き状況を調査し、市ホームページで公表
⇒接種の加速化

2 モデルナワクチンの活用（当分の間、ファイザーワクチンに加え、モデルナワクチンでの接種も進める。）

- ⇒既にモデルナワクチンを使用している県大規模接種や国の職域接種に加え、
 - ①市の集団接種会場では、**10月4日**以降の予約については、ファイザーからモデルナへ切り替えを行う。
 - ②一部の市内医療機関においても、ファイザーとモデルナの併用接種に向けて市と医療機関で協議を行う。

1. インターネット予約(県共通予約システム)

※8月30日(月)午前8時30分開始

※インターネット予約対応の医療機関については、岡山市
新型コロナワクチン接種コールセンターでも代行予約を
受け付けます。0120-780-910 8:30~17:30(日・祝除く)

岡山市 ワクチン で 検索



2. 医療機関への電話予約

※8月30日(月) 開始時間は各医療機関で異なる

3. 妊娠中の方及び配偶者・パートナー等の優先的予約

※8月26日(木) 開始時間は各医療機関で異なる

妊娠中の方の接種の可否について、まずはかかりつけ医等にご相談し接種
依頼をしてください。かかりつけ医で接種を行っていない場合などは、他の接
種医療機関や市のコールセンターにご相談ください。

※ 円滑な予約のため、▼インターネット予約の活用 ▼市HP掲載の空き状況リスト
の活用 — などをお願いします。

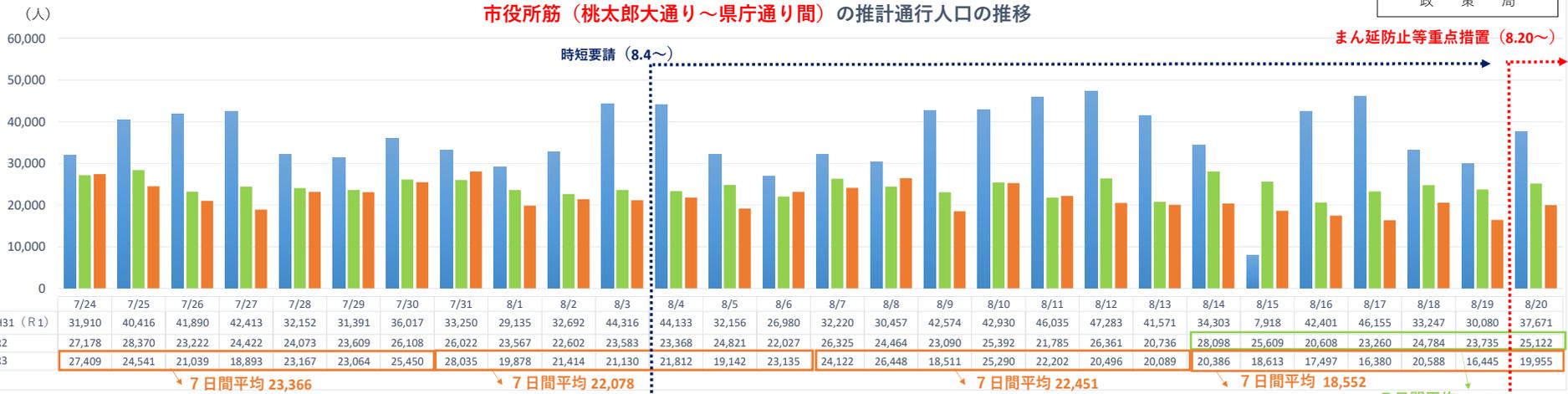
このほか、詳細は市のホームページに掲載しています。

岡山駅前における人流動向 (GPS位置情報ベース)

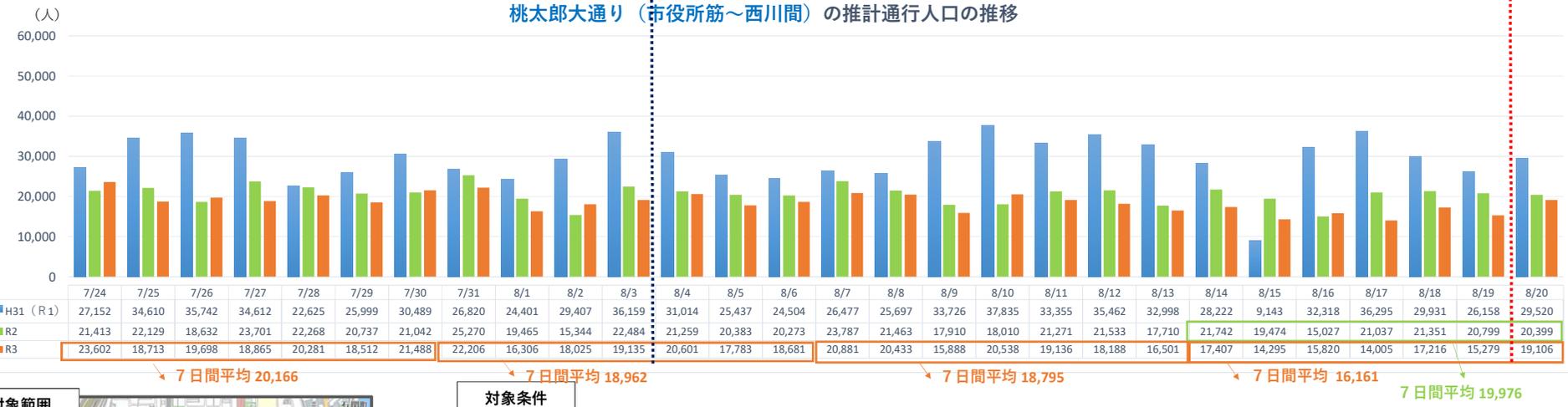
令和3年8月25日
第42回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
政 策 局

市役所筋 (桃太郎大通り～県庁通り間) の推計通行人口の推移

まん延防止等重点措置 (8.20～)



桃太郎大通り (市役所筋～西川間) の推計通行人口の推移



対象範囲



対象条件

岡山駅前の市役所筋と桃太郎大通り (左記対象範囲) を0時～24時に通行した人数をそれぞれカウントした。
※「KDDI Location Analyzer」を利用して分析。auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計し、全人口に対するユーザーの割合から拡大推計し人数を算出している。
データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」
※携帯電話基地局データに基づく推計滞人口には単なる居住者人口も含まれるが、GPSデータに基づく推計通行人口 (当該資料) には単なる居住者は含まれない。
※R3年は速報値での集計であり、後日、値が変わる場合がある。

8月26日以降の学校教育活動等について

子どもたちの健やかな成長のためには、心と体の健康も学びを保障することもいずれも欠かすことのできない重要なことと考え、当初の予定どおり8月30日に2学期の始業式を行う。

これまでも各学校において、可能な限り感染リスクを低減するため、手洗い、マスクの着用、「3密」の回避、給食の黙食、校内の消毒等、また、家庭の協力による登校前の健康観察や検温の取組を継続徹底してきた。今後、一層子どもたちの安全の確保を図るため、下記の措置を当面の間とることとした。

記

【学校教育活動について】

○校外行事（宿泊を伴う行事を含む）や運動会等の校内行事は、延期または中止とする。

○授業においては、これまで感染対策を講じたうえで実施していた音楽の合唱等、感染リスクの高い学習活動は、行わないこととする。

○部活動については、原則休止とする。

※上位大会につながる公式戦・大会に参加する場合にのみ、該当の部活動については、主催者の感染防止のためのガイドラインを遵守するとともに、感染防止対策を講じたうえでの参加を認める。

※公式戦・大会における負傷・事故防止等のための必要最低限の活動を除く。

※他校との練習試合等、校外での活動は実施しない。

【校内で感染が確認された場合の措置について】

保健所と協議し、必要に応じて学級、学年閉鎖、場合によっては臨時休校の対応を取ることとする。

なお、その場合はプリント学習だけではなく、タブレット端末を使った取組ができるようにする。

【出席停止等の取扱いについて】

児童生徒の感染が判明した場合または児童生徒が感染者の濃厚接触者に特定された場合等、以下に掲げるものについては、学校保健安全法第19条の規定に基づき出席停止の措置を取る。

※以下の場合、出席停止とする。

- ・ 病院受診後、新型コロナウイルス感染症ではないと診断されたが、自宅で休養した場合
- ・ 発熱等風邪の症状が見られ、自宅で休養した場合
- ・ 保健所が必要と認める場合等(濃厚接触者としての扱いで欠席せざるを得なかった場合等)
- ・ 医療的ケアが日常的に必要な児童生徒等や、基礎疾患等のある児童生徒等が感染予防のために欠席する場合（主治医や学校医と相談のうえ、登校の判断）
- ・ 同居する家族に基礎疾患等（肺炎、風邪症状など）があることを理由に欠席する場合
- ・ 児童生徒が、感染症対策のため自主的に欠席する場合

教職員についても、風邪症状等がある場合には、出勤を控えるよう周知徹底する。

【学校開放事業について】

部活動の休止に伴い、学校開放事業についても中止とする。

※ _____ は、今回新たに追加したこと

保育園等の対応について

これまでも園においては、登園前の検温、手洗いや消毒の徹底、3密を避ける工夫、風邪症状等の体調不良時には登園や出勤(園の職員)を控えてもらう等の感染対策を講じてきているが、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していることから、子どもの安全を確保するため、これらを改めて徹底するものとする。

また、園内で感染者が確認された場合には、保健所と協議し、必要に応じて、クラス閉鎖・休園等の対応をとっていくものとする。

■緊急事態宣言発令中の保育園等の対応について(予定)

- 1 対象施設 保育園、認定こども園、市立幼稚園
- 2 各施設の対応

緊急事態宣言発令後、その期間に応じ、次のとおり対応する。

- (1) 原則、開園する。
- (2) 家庭での保育等が可能な保護者に対し家庭での保育をお願いする。

この場合の保育料等の取扱いは、次のとおりとする。

種別	保育料(3歳未満児)	副食費(3歳以上児)
保育園	日割り還付(1日以上)	各月6日以上欠席の場合、 半額減免
認定こども園		
市立幼稚園		

- (3) 感染防止に関する取組の更なる周知徹底

- 3 対応を行う理由 感染拡大防止のため
(園児、保護者、職員を含めた市中感染拡大防止)
- 4 期間 緊急事態宣言発令期間中

緊急事態宣言発令後の放課後児童クラブ等の対応(予定)

1 各施設の対応

種別	対応		利用料	おやつ代	期間
放課後児童クラブ	開所	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言発令後も原則、開所とする。 ・小学校の扱いに準じ、小学校が「出席停止」扱いとした児童は登所を控えていただく。 ・可能な方には利用を控えるよう協力をお願いする。 	日割還付 (1日以上)	日割還付 (1日以上)	緊急事態宣言発令期間中
市立児童館・児童センター	臨時休館	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止のため休館・休業とするが、直接対面しなくても実施できる電話相談については実施する。 			
地域子育て支援拠点事業	臨時休業				

2 理由

- ・最大限の感染拡大防止を図りつつ、社会生活を維持するためのセーフティネットとしての役割を果たしていく必要があるため。